

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



一日看護体験の様子
記事「一日看護体験を実施して」は3ページに掲載。

第42号 目次

特集 - 医師が語る疾患 -

第一回 糖尿病 副院長 宇治原 誠・・・1

行事紹介

当院職員がJR東日本旅客鉄道株式会社
横浜支社より表彰されました！

「災害時における提供協力に関する協定」

締結式について・・・2

一日看護体験を開催して・・・3

連載 職員リレー紹介

第一回 医療コンシェルジュ・・・4

病診連携施設紹介・・・5

お知らせコーナー

冬場の感染予防

外来受診の案内・・・6

外来担当医表／編集後記・・・7

お知らせ ◆ 特集と職員リレーの案内

本号より、2つの記事の連載を開始いたします。

1つは当院の医師が傷病をテーマとした記事で、
もう1つは当院の職員を紹介する記事です。

是非お読み下さい。



発行 月：平成25年10月

発行 行：独立行政法人国立病院機構

横浜医療センター 広報委員会

発行責任者：工藤 一大

住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2

電 話：045-851-2621

FAX : 045-851-3902

URL : <http://www.yokohama-mc.jp>



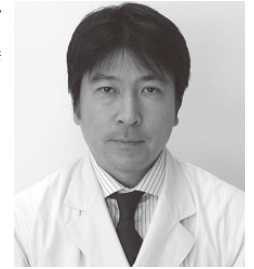
●当院携帯サイトはこちらから

特集 — 医師が語る疾患 —

第1回 糖尿病

副院長 糖尿病内分泌内科 宇治原 誠

糖尿病の患者数は年々増加し2011年の厚生労働省の統計では日本の20才から79才までの方のうち1067万人(有病率11.2%)の方が糖尿病であると推定されています。今や糖尿病は国民病と言ってもよいくらいです。ここでは架空の患者さんとの対話形式で糖尿病を紹介してみますので気楽に読んでいただければ幸いです。



ある日のK病院糖尿病外来診察室にて

- U医師「A先生からの紹介で来られたのですね。」
- 患者P「そうです。会社の検診でHbA1cとかいう数字が高くて糖尿病だから2次検査が必要だと言われ、近くのA医院に受診して検査を受けたところ、やはり糖尿病だと言われました。糖尿病は薬を飲むだけでなく食事など患者自身も実践しなくてはいけないことがあるし、初めて糖尿病が見つかったので精密検査も必要かもしれないから、K病院に行くように言われて紹介状をもらって今日受診しました。私はそんなに太っていないし、贅沢な食事もしていないのに、本当に私は糖尿病ですか？」
- U医師「そうですね。検診とA医院の検査結果からするとPさんは糖尿病ですね。糖尿病は決して贅沢病ではないのですよ。確かに太ると糖尿病にはなりやすくなりますが、太っていても糖尿病ではない方もいれば、やせた方にも糖尿病の方はたくさんいます。」
- 患者P「それではどうして私は糖尿病になったのですか。父や兄も糖尿病の薬を飲んでいるから遺伝なのですか？」
- U医師「糖尿病には1型と2型の二つのタイプがありますが、日本人のほぼ90%は2型糖尿病です。Pさんもこれまでの検査結果から考えると2型糖尿病です。日本人には、自分の膵臓からインスリン（血糖を下げる生体内物質）を分泌する能力が欧米人に比べてかなり低い方が多く、その体質を持った方が太ったり、運動不足になったりすると2型糖尿病になるのです。インスリンを分泌する能力は遺伝で決まっていると言ってもいいので、Pさんがおっしゃったように2型糖尿病は遺伝病と言っても間違いではないのです。」
- 患者P「遺伝病だったら治さなくもいいのではないですか？体質みたいなものなんだし。」
- U医師「たとえ体質でも病気であれば治療しないとイケません。糖尿病を治療しないで血糖値が高いままになっていると、目の奥の網膜の病気になって、悪くすると失明しますし、腎臓が悪くなり、足が腐って壊疽になります。また最も命に関わるのは心筋梗塞になることです。やっかいなのは、糖尿病の方には神経の障害のために痛みをあまり感じない方がいて、糖尿病では心筋梗塞を起こしても痛みが軽いので軽症だと勘違いして病院に行くのが遅れるために亡くなりやすいというデータがあります。」
- 患者P「糖尿病って結構怖い病気なのですね。」
- U医師「確かに怖い病気ですが、患者さんが食事療法、運動療法を行い、禁煙などを含めて生活習慣をきちんとした上で、医師から指示された薬物療法を忘れなければ血糖は安定し、怖いことにならなくて済むことは十分可能です。生活習慣を正しくすることは少々つらいことがあるかもしれませんが、その分努力は報われるのです。」
- 患者P「わかりました。がんばります。」
- U医師「それではまず食事指導の予約をとりましょう。ぜひ奥様と一緒に指導を受けてください。また当院は資格をもった糖尿病療養指導を行う看護師が看護ケア外来を行っていますので、その外来を予約し生活習慣、足の状態などをチェックしましょう。お薬も処方します。血糖が安定しましたら、A医院に戻って定期通院しましょう。」

行事紹介

当院職員がJR東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社より表彰されました！

管理課長 堀住 雄策

平成25年8月2日（金）にJR東日本旅客鉄道株式会社横浜支社より、当院の東4病棟に勤務する看護師の板橋奈緒子さんに「横須賀線の車内において急病のお客様に対し迅速かつ適確な初期救護活動をしてくださいました。」として感謝状と記念品が贈られました。

板橋さんは、平成25年7月19日、JR横須賀線で帰宅中、車内で突然倒れられた男性に遭遇し、周囲の乗客に対し車掌への連絡、次に止まる駅への連絡、AEDの依頼をしつつ、自らは救急隊への引継までの間、男性の心臓マッサージを施しました。



感謝状を手 上野東戸塚駅長から感謝状等を受け取る板橋さん

にした板橋さんは、「2年程前にBLS（一次救命処置）の講習を受けていたことで迅速に行動ができたのではないかと自己研鑽の重要性を改めて感じました。今回のように救命処置を必要とする方がいつ現れるか分からないので、今後も救命処置の技術を更に磨くよう努力したい。」と話されました。上野東戸塚駅長からは、「このようなことが起きないのがよいのは勿論ですが、仮にこのようなことがあった場合には、今後ご協力頂きたい。」とのお言葉がありました。



前列左から山口看護部長、板橋さん、工藤院長
後列左から大澤東戸塚駅助役、上野東戸塚駅長

「災害時における提供協力に関する協定」締結式について

企画課長 宮田 孝志

平成25年8月1日（木）に横浜医療センターと株式会社アベックスは、「災害時における提供協力に関する協定」を締結しました。

締結内容は、横浜市において地震等による大規模災害が発生し、当センター内に災害対策本部が設置されたときにおける飲料及び物資の提供協力です。

災害時にはセンター内に設置してある「災害対応型カップ式自動販売機」の清涼飲料水、紙カップ及び飲料用原料について、上限はありますが無償で提供していただく等の内容です。

起きてはならないことであると考えておりますが、万が一災害が起こってしまったときには患者さん等への一助になればと考えています。



工藤院長と関根常務取締役

行事紹介

一日看護体験を開催して

教育担当 伊藤 晶子

看護部では今年7月24日に一日看護体験を開催しました。一日看護体験は、高校生が看護師と一日行動を共にし、患者さんと直接ふれあい、看護を体験することによって看護に関心と理解を深めることを目的に行われます。今回は近隣の高校生4名が参加し、白衣に着替えて様々な看護を体験しました。

当日はまずオリエンテーションで当院の概要について説明を聞いてもらい、病院の役割や仕組みなどを理解してもらいました。そのあと病院内を案内し、ナースステーションで実際に看護師や医師をはじめ多くの医療従事者が働いている様子を見たり、病室を見学してナースコールを触ったりして、臨床の雰囲気を感じてもらいました。ICUの見学では広いフロアにベットが並び様々な医療機器や多くのモニター類が作動している現場を見学し、救急医



療の現場を垣間見てもらっています。

昼食をはさんで、午後から健康チェックを行い、看護の基本であるバイタルサインの測定を実際に経験しました。これまでも体温や血圧を測った経験はあるとのことでしたが、正しい測定方法を学び正常値、異常値などを知った上で実施してもらいました。



その後、東4産科病棟と東6病棟に分かれて看護体験をしてもらいました。東6病棟ではお年寄りの患者さんとの会話や入浴介助の場面を見学してもらいました。「とても勉強になった」「看護師さんの仕事をみることでよかった」といった感想が聞かれています。産科病棟では間近で新生児と接することができ、「赤ちゃんがとてもかわかった」「すごく楽しかった」といった感想が聞かれました。

今回、参加者4名全員が看護師志望ということで、最後に行った意見交換会でも看護体験の感想や看護学校での勉強の仕方、看護師の仕事などについて多くの質問が出て活発な意見交換ができました。彼らが将来同じ看護師の仲間として医療の現場を担ってくれたら素敵だと思います。今後もこうした機会を通じ、看護の魅力を知っていただけるように努力して参りたいと思います。



第1回 医療コンシェルジュ

渡邊 裕子

うだるような暑さも通り過ぎ、夜になると秋の虫の音が聞こえています。当院を訪れる皆さまの装いも、次第に秋色となり、日々季節を感じております。

横浜医療センターにて、初のコンシェルジュとして着任し、早いもので2年が過ぎました。着任当初から、当院を訪れる患者さんやご家族が不安なく受診していただけるよう病院玄関付近にて、患者さんのお迎えとお手伝いをさせていただいております。「初めて来た



たときの手続きはどうするの」、「診察は終わったが次はどこにいったらいいの」、「精算機の使い方がわからないから教えて」、「処方箋をもらったけれどどうしたら薬がもらえるの」、「面会の手続きはどのようにしたらいいの」、「病院の中にポストはあるの」というお問い合わせの他にも、「一番近い郵便局はどこにあるか」、「東京へ行きたいけれど、最短で行くにはどうしたらいいの」、「バスの時間を教えてほしい」等の院外についてのお問い合わせもいただいております。

玄関付近にいない場合は、外来待合等を巡回しております。場所がわからない等お困りのことがありましたら、遠慮なくお声かけください。

時には、車いすの介助もいたします。ご家族が駐車場に車を置きに行く間に、患者さんと一緒に院内で受付を済ませ、院内でお待ちいただくことも可能です。車いすの使い方がわからないときもお答え出来ますので、ご安心ください。

この仕事をしている中で、大変なことは、同じご依頼でもお一人おひとりで対応が違うことです。最善を尽くし、笑顔を絶やさぬよう心がけています。

その中で、患者さんから、「今日も来たよ」、「退院して初めての外来です」という声をかけていただいたり、診察が終わった小さなお子さんが、涙いっぱいになりながらも、「バイバイ」と声をかけてくれる瞬間などが、私にとっての何よりの励みとなっています。

コンシェルジュは皆さまとの距離が近い仕事です。患者さんや来院された方から多くの気づきをいただき、ご意見に対し、ひとつずつ向かい合い、改善に努めています。これからも頼りにしていただくことへの感謝と責任を肌で感じながら、来院する皆さまと病院との「安心の架け橋」となれるよう、そして「横浜医療センターに来て良かった」と言ってもらえるような空間づくりを目指し、今後も一層の努力をしていきたいと思っております。

病診連携施設紹介

泌尿器科あべクリニック

診療科目：泌尿器科

「思えば遠くへ来たもんだ～～」と、東海大学出身で厚木市に住んでいる私が、縁もゆかりもない『立場』という土地へ本厚木から電車を乗り継ぎ通うこと約1時間、早12回目の秋を迎えようとしています。



右から二番目が阿部貴之院長

とある先輩の一言で泌尿器医になり、とある友人の一言で地下鉄立場駅すぐ横にあるビルで泌尿器科専門クリニックとして平成14年4月に開業、診察時間と休憩時間の区別がつかない様な穏やかな時間を過ごすこと約1年(心の中は焦りまくり)、閉院を真剣に考えなければならない危機を二度乗り越え、今この文章を書いております。

そもそも、なぜ泌尿器科を選んだのか？なぜ立場で開業したのか？全ての始まりは他人の一言ですが、それには考えさせられた深い意味と決意がありました。私という人間を知っていただくためにも必要かと思い、そのことについて書き始めたのですが、気がつく『はらじゅくかわら版』が『はらじゅくかわら本』になってしまうため断念いたしました。

ただ危機を乗り越えられたのは、文句も言わず？付いて来てくれたクリニックの職員、同じビルの中にあります佐藤胃腸科内科クリニック(現、立場整形外科・内科)、フタバ皮膚科、立場メンタルクリニックの諸先生方との温かい交流とご協力、横浜医療センターを始めとする近隣の基幹病院や開業医の先生方のご支援があつてのことで心から感謝をしております(一番の感謝は妻と、知らないうちに貯金を使われてしまった3人の娘たちですかね)。

今年で50歳になり、そろそろ自分のことも気になりだした泌尿器科医として、今後とも専門性を生かし、地域医療に貢献していきたいと思っております。



泌尿器科あべクリニック

〒245-0015 神奈川県横浜市泉区中田西1-1-27 ネクストアイ3F
TEL : 045-805-5808

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	※●	/
午後 14:30~18:00	●	●	●	/	●	/	/

休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

※土曜午前の診療時間は午前9:00~午後13:00です。

お知らせコーナー

冬場の感染防止

感染管理担当看護師 深瀬 史江

寒い季節に流行する代表的な2つの疾患の感染対策を紹介します。

■インフルエンザ対策

インフルエンザは、罹っている人から排出されたインフルエンザウイルスが鼻や喉の粘膜につくことで感染します。主な症状は、発熱、のどの痛み、だるさ、咳、関節痛などです。風邪と似ていますが、症状は強く、高齢者では重症化することもあります。インフルエンザを防ぐためには、ワクチン接種が重要です。ワクチンを打てば完全に防げるわけではありませんが、症状が軽くすみませす。また、症状がでたら高齢者や小児は早めに受診してください。咳やくしゃみなどの症状が出る際には、マスクをつけて周囲の人に感染させないように配慮することが大切です。マスクがない場合は、咳エチケットを行い、ハンカチで口を覆うか、周囲の人から顔をそむけて咳をしてください。

■ノロウイルス対策

ノロウイルスは、ウイルスが含まれた食べ物を摂取することや、ノロウイルスに感染した人の吐物などを片づけた際に、手についたウイルスから感染します。主な症状は嘔吐と下痢で、発熱を伴うこともあります。特効薬はなく、症状は2~3日で改善します。高齢者では、嘔吐の際に吐物が気管に入ってしまう、誤嚥性肺炎を起こすことがあります。

食べ物では、生物、特に生牡蠣に注意してください。過熱によりウイルスは死滅します。感染力が強いため、吐物を処理する際にはマスクや手袋をつけて、衣類はすぐに洗濯してください。洗濯の際には水はねに注意して、塩素系の漂白剤で消毒することをお勧めします。

共通する感染対策としては、手洗いをきちんと行うことが大切です。外出の前後、食事の前後は必ず実施しましょう。

【初診時には「紹介状」をお持ちください】

横浜医療センターは、かかりつけ医(※1)と連携して、患者さんの病状に応じた適切な医療を提供する地域医療支援病院に指定されております。

地域の医療全体の充実を果たす為、かかりつけ医は患者さんの初期診療や健康管理などを担い、横浜医療センターは高度医療や専門的な検査を担います。

スムーズな治療継続の為、当院受診に際しては、かかりつけ医の紹介状を持参して頂き、病状が安定した患者さんには、以後の治療・経過観察・お薬の処方などをかかりつけ医で受けていただくようお願いしております。

この為、当院では初診料をいただく患者さんのうち、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない患者さんからは初診時特定療養費(※2)として、3,150円をいただいておりますのであらかじめご了承ください。なお、紹介状なしでは、受診出来ない診療科もございますので、外来診療担当表をご確認下さい。

※1 かかりつけ医とは

主に地域の診療所や医院で病気や健康について気軽に相談にのってくれる身近なお医者さんのことで、直接、診断や治療に結びつかなくても、治療の糸口を見つけてくれたり、必要なときには「しかるべき病院」を紹介して下さいます。

※2 初診時特定療養費とは

医療機関の機能分担の推進をはかるために国が定めた制度で、200床以上の病院は、紹介状を持たない初診患者さんから、通常の医療費の他に病院が定めた金額を徴収できるというものです。

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考		
外来受付 A	小児科	鈴木 陽二 楠佐 香織 交代医師	菅井 和子 矢竹 曜子 交代医師	菅井 和子 交代医師	鈴木 陽二 矢竹 曜子 交代医師	交代医師① 楠佐 香織 交代医師	①:第1・3・5週 福山 綾子、第2・4週 小林 慈典	
	心臓血管外科 形成外科	金子原 幸宏	休診日(手術日) 村下 一男	東館 雅文 休診日(手術日) 村下 一男	※東館 雅文 村下 一男	東館 雅文 村下 一男	※木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
	整形外科	瀧上 秀威 石ヶ坪 諒 鈴木 宙	日塔 寛昇 伊藤 りえ 日野 勝利 ★瀧上 秀威	瀧上 秀威 高 倫浩 鈴木 宙	日塔 寛昇 林 陸 伊藤 りえ	石ヶ坪 諒 林 陸 高 倫浩 ★日塔 寛昇	★:予約患者のみ。	
外来受付 B	総合内科 糖尿病内分泌内科	交代医師 小松 裕美子 ■藤原 憲美	交代医師 小野 佐知子	交代医師 宇治原 誠 ◎藤原 憲美	交代医師 宇治原 誠	交代医師	◎:Aブロックで診察。午前のみ。 ■:午後の予約のみ ▼:Aブロックで診察。 初診には紹介状が必要。 ②:第1・2週 田中 直秀、第3・4・5週 岩出 和徳	
	神経内科	古宮 裕泰	園井 美紗子	上木 英人	岡本 光生 ■高橋 洋子	高橋 竜哉		
	腎臓内科	松下 啓		山名 比早子	松下 啓			
	呼吸器内科	後藤 秀人	▼榎原 基史	山川 泰	休診日(検査日)	須藤 成人		
	消化器内科	交代医師(初診) 塩原 廣正	小林 至也子(初診) 鈴木 大輔 ■小松 達司	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野登 はるか ■小松 達司	交代医師(初診) 小松 達司		
	循環器内科	森 文章 内田 吉枝	岩出 和徳 網代 洋一(午前) ■逸見 隆太	田中 直秀 服部 英敏	田中 直秀(午前)	岩出 和徳 ■森田 紗恵		
	リウマチ科	出口 治子	宮城 瑠美子 ■出口 治子	休診日 (検査日)	宮城 瑠美子 ■出口 治子	出口 治子 ■宮城 瑠美子		
	外科	清水 哲也 榎垣 里沙 松木 裕輝	関戸 仁 松田 悟郎 齊藤 修治	松田 悟郎 杉政 泰彦 山本 悠史	関戸 仁 松田 悟郎 清水 哲也 榎垣 里沙	休診日 (手術日)		
	呼吸器外科		安藤 耕平 野間 大督 交代医師③		野間 大督 安藤 耕平 ◆向原 茂雄	坂本 和裕 野間 大督 市川 輝夫 ●しびれ外来	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、 直接ご連絡ください。 ③:第1・3・5週 岡田 富、第2・4週 宮原 宏輔 ④:第1・3・5週 坂本 雄大、第2・4週 谷野 慎 ●:午後のみ。PM3:00まで初診を受け付けています。 ◆:第5週は休診。 ◇:脳ドックの詳細はPM2:00～5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください。	
	脳神経外科	休診日 (手術日)	手術日	◇脳ドック	手術日			
麻酔科 (ペイン・緩和)	田澤 利治		田澤 利治		田澤 利治			
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	○佐々木 祐幸 手術日	○:予約外の診察には紹介状が必要です。	
	眼科	木村 正彦 熊代 俊	兼 桂子 熊代 俊 手術日	木村 正彦 熊代 俊	木村 正彦 兼 桂子	休診日 (手術日)	火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。 (8:30～11:00)	
	泌尿器科	本田 直彦 奥野 紀彦	本田 直彦 若田部 陽司	休診日 (手術日)	奥野 紀彦 若田部 陽司	本田 直彦 高田 治子	水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。	
外来受付 D	皮膚科	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 休診日 手術日	宮田 聡子 船津 栄	宮田 聡子 船津 栄		
	心療内科	心理検査 折田 真央	心理検査 大橋 茉莉子 鈴木 将裕	心理検査 古野 拓	心理検査 山口 和己	心理検査 土屋 美江 高石 政男	※月～金:初診の方は9時30分までに受付を済ませてください。(要紹介状、1日1名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
	精神科	長谷川 瑛 奥田 美加	奥田 美加 若林 玲南	窪田 興志 若林 玲南	乗杉 輝彦	若林 玲南	初診には紹介状が必要。	
外来受付 E	産科	太田 幸秀	若林 玲南	奥田 美加	高木 偉博	長谷川 瑛		
	歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 重彰 赤津 千絵 (午前初診・午後再診)	休診日 (入院手術日) ※急患はご連絡 ください。	塩入 重彰 赤津 千絵 (午前初診・午後再診)	塩入 重彰 赤津 千絵 (再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～11:00。初診急患は随時受付(紹介状も直接連絡 ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:紹介状又は診療情報提供書を持参してください。 詳細については歯科口腔外科病室にお問い合わせください。	
専門外来 (予約制)	小児科	アレルギー検査 シナス(8～4月) (矢竹)	腎臓外来(⑤) フォローアップ外来 (矢竹)	アレルギー-(菅井) アレルギー-(宮地)	フォローアップ外来 (福山) 1カ月鑑診 (矢竹) 1カ月鑑診 (交代医師)	アレルギー-(内田)	⑤:第1・3週(火)長濱 ⑥:第1・3・5週(金)本井	
	整形外科	アレルギー-(菅井) 感染免疫・アレルギー (小林)	アレルギー-(鈴木) スポーツ整形外科(終)	予防接種(交代制) 13:30-14:30 循環器外来 (鈴木)(月1回)	循環器外来(鈴木)			
	神経内科		◎頭痛外来 摂食・嚥下外来 物忘れ外来				毎週15:00～16:00 地域連携室を通して完全予約制 ◎第2・4週(頭痛外来)、第1・3・5週(摂食・嚥下外来)	
	糖尿病内分泌内科	糖尿病連携バス外来						
	腎臓内科	腹膜透析外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来			
	看護部			糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来	糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来			
	外科		スキンケア外来	スキンケア外来	乳がん検診			
	耳鼻咽喉科				補聴器外来(午後)			
	循環器科			パースメカ外来	睡眠時無呼吸 症候群外来			
	精神科	物忘れ外来				物忘れ外来	初診には紹介状が必要。地域連携室を通して完全予約制	
	産婦人科	助産師外来 母乳外来(午後) ▽母親教室	助産師外来 母乳外来(午後)	助産師外来	助産師外来	助産師外来 母乳外来(午後)	母乳外来(午後)	▽:午後のみ。夫立会教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。 地域連携室を通して完全予約制(第1金曜日のみ) 9:00～11:00 地域連携室を通して完全予約制
	呼吸器外科					7スベスト外来(坂本)		
	放射線科	海津 久		榎多 政治	向井 佑希			

初診受付: 平日 8:30～10:00
再診(予約外)受付: 平日 8:30～10:00
休診日: 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

◆編集後記◆

暑かった夏もようやく涼しくなり秋の気配が感じられる日々となりました。

地球温暖化の影響により近年は夏と冬という季節の二極化が進みと言われ、晩夏から初秋にかけてのあいまいで、二つの領域にまたがるようなきわどい季節感は薄れたのでは、ないかと思えます。天候という自然現象が現在変化しつつあるのだから、仕方ないかもしれませんが、やはり一抹の寂しさを感じます。今の季節、食べ物も美味しく、趣味やレジャーに最適な季節です。日頃の疲れを癒しに、どこかに出かけたくなりますね。(S. H)